

A C C E 同 窓 会 会 報

発行所
愛知工業大学情報電子専門学校同窓会
豊田市陣中町 1-21-1
TEL (0565) 32-8181

新校長ご挨拶



校長 岩 義 夫
校 白

創立十周年を迎えて

平成四年の春に開校しました本愛知工業大学情報電子専門学校は今年で満十年の創立記念の年であり、本年秋に十周年を祝おうとしています。同時に、本学の母体であります名古屋電気学園も今年創立九十周年を迎えています。共に慶事の年であります。

ITとかInformation Technologyといった言葉がわれわれの周りに頻りに聞かれるようになり、マス・コミでしきりに取り上げられるようになってから久しくなりました。

十八世紀半ばに英国で始まりました産業革命が、当時の技術的基礎を一変せました。機械設備による大工場が多く出現し、それと共に社会構造すらも根本的に変化したといわれました。

「IT革命」の文字がマス・メディアで踊りましたのは、この産業革命の姿を今日の情報技術の発展に重ね、現代社会の生活を一変させる力になると考えたからでしょう。わが国が平成十三年一月に「高度情報通信ネットワーク社会形成基本法」を施行しましたのも、情報通信技術の活用により起こると予想されます社会経済構造の変化に対応するためでありました。

高度情報通信ネットワーク社会を象徴するインターネットは茶の間に居ながらにして世界の情報を知ることができるようだけでなく、金融機関の利用や買い物などを可能にしています。最近の民間調査機関の調べでは、平成二年現在、日本国民の三人に二台の割合で、情報技術の塊とも言える携帯電話の所有者になつていくようです。

心理学の研究に長年携わってきた私は、情報の不足も過多も我々の行動を混乱させることを知っています。本校の同窓生の皆様も、情報技術専門家として、賢い情報の送り手、受け手として活躍してほしいものです。

資格取得状況

平成十三年度の資格取得状況を左表に示します。
高度情報処理技術者能力検定試験が中止になり、マルチメディア検定試験を新しく受験しました。
CADトレース技能検定試験の合格率はACEが八二%、愛知県のACE以外は四四%でした。

試験の種類	1級	準1級	中級	2級	準2級	初級	3級	計
1 テクニカルエンジニア試験								1
2 ソフトウェア開発技術者試験								3
3 基本情報技術者試験								4
4 システムアドミニストラータ試験						6		6
5 情報処理技術者能力検定試験	6			21			27	54
6 情報処理活用能力検定試験				23			17	40
7 C言語プログラミング能力認定試験				6			25	31
8 Illustratorクリエイター能力認定試験	1			7				8
9 Photoshopクリエイター能力認定試験				7				7
10 CG検定試験				1			2	3
11 マルチメディア検定							1	1
12 PageMakerクリエイター能力認定試験							1	1
13 デジタル技術検定試験							9	9
14 工事担任者試験(デジタル1種)								2
15 CAD利用技術者試験	2			9				11
16 CADトレース技能審査			17			13		30
17 トレース技能検定試験							17	17
18 日本語文書処理技能検定試験							2	2
19 日本語ワードプロセッサ検定試験				2			1	3
20 Excel表計算処理能力検定試験	1			35			68	104
21 日本漢字能力検定試験				1	11		23	35

就職・編入状況

平成十三年年度の卒業生に対する求人企業数、求人数および求人倍率は、四百十三社、千三百六十六人および二・四・八倍と過去最低であった前年度を上回る状況でした。

学科/専攻を指定した求人数は、情報系が二十七%増、電子制御が十五%増、CADが横ばいでした。

就職率は残念ながら卒業時点で五人が未内定で九十一%でした。

新規内定の企業が十九社で、内定企業の四十五%にあたり、新しい企業の開拓が進んでいいます。
編入学希望者九人全員が大学へ編入学できました。

平成十三年度 卒業式

平成十四年三月十九日に本校において行われ、六十六名が卒業しました。

また、毎年、母校からの推薦を受け、同窓会より贈っています。同窓会長賞には、情報工学科プログラミング専攻の大原正君が受賞し、当日、水谷会長より、賞状と記念品が渡されました。

なお、学科別の卒業生数は次の通りです。

- 高度情報工学科 三名
- 情報工学科 三十二名
- 電子制御工学科 十一名
- CAD・CAM工学科 二十名

平成十四年度 入学式

平成十四年四月九日に行われ、百三十二名が入学しました。

今年は昨年度に比べて約一・七倍の新生が入学し、大幅に増えました。

専門学校から大学へ編入できる制度が施行されて数年になりますが、この制度が浸透してきたのかも知れません。実際、今年の新入生も多くが大学への編入を希望しています。

なお、学科別の新入生の数は次の通りです。

- 高度情報工学科 十八名
- 情報工学科 六十名
- 電子制御工学科 二十三名
- CAD・CAM工学科 三十一名

トピックス

退任・新任教職員

この一年間は教職員の異動が多くありました。ご挨拶をいただいておりますので、最終ページを是非ご覧ください。

【退任者】

校長 吉田 昭二
平成十四年三月退任

特任教授

科目 林 千勝
CAD
CAM
CAD試験対策
機械計測
平成十四年三月退任

特任教授

科目 半村 久雄
電子回路
マイクコンピュータ
電子工学実験
卒業製作
平成十四年三月退任

事務職員

大谷美也子
平成十三年三月退任

事務職員

森 美和子
平成十三年二月退任

【新任者】

校長 白岩 義夫
平成十四年四月新任

事務職員

池山久美子
平成十四年四月新任

課長補佐

平成十四年四月新任

卒業生だより



高専情報学科 H13年卒
森下 久 充

真剣に取り組める 環境作り

入社して一年が経過しました。私は今、主に外装床タイルを製造している会社に勤務しています。イメージとして情報処理関係では無いのですが、この企業でも必ずデータは発生して来るものです。専門学校で得た知識は毎日の仕事で活用する場面も多くあります。仕事は物流部で製品の在庫管理をしています。沢山の製品が入庫したり出荷されたりと、変動する中で作業は時間が速く感じます。習う事や自分が知らない知識はまだ数えきれない程あると思いますが、一つ一つの仕事を確実に身に付けるよう心がけています。あまり失敗を恐れず、わからない事があればすぐに聞いた方が後々自分の力にもなります。誰でも初めは知らなくて当たり前だと会社の方もサポートしてくれれます。私もそれに応える為に頑張っています。

学生の時時間はゆとりが十分あったので、もっと大切にしていたかった気がします。何もしなくても一日は過ぎてしまう事を少し後悔している自分が残念です。今後は一つでも多くの仕事を与えてもらえるよう、もっと正確に速くこなせるよう、自分の能力を高めていきたいと強く希望しています。真剣に取り組めば何でも好きになります。環境作りを自ら実行する意欲があれば、充実した時間を過ごせるのではないのでしょうか。

これからチャレンジしたい事、やってみたい事がある人も、ACEで身に付ける知識は無駄がなくていいと思います。一生懸命な姿は周りから見てもカッコよく、うらやましくも感じるのはです。新しい事をやってみたい力を持ち続けて、自分自身の向上に努めたいです。

高専情報学科 勤務



情報工学科 H13年卒
各務 代志子

豊橋で頑張っています

私は、平成十三年三月に愛知工業大学情報電子専門学校を卒業しました。そして、同じ年の四月に豊橋技術科学大学の三年次に編入学しました。同時に私

は、豊橋に下宿をすることになりました。一年前の私は新しい生活がうまくいくかとても不安でした。しかし、学校が始まると、授業やレポート、部活など、毎日とても忙しくて不安を感じる暇もありませんでした。だから、気が付いた時にはもうすっかり学校や生活に慣れていました。豊橋技術科学大学は、全生徒数の八割が高専からの編入生です。大学三年次の授業は高専の授業の復習のような内容が多いのですが、私にとっては初めて聞く内容が多くありました。授業についていくのに本当に苦労しました。

家電修理



電子制御学科 H13年卒
鬼頭 佳裕

私は、平成十三年四月、(株)エイデンに入社し、現在は(株)エイデンサービスへ出向しています。勤務地は岡崎市内のシェリーズ岡崎店です。仕事の内容は、持ち込み家電製品の修理と受付です。当初の希望通りの職種(技術職)で満足しています。専門学校(電子制御学科)の二年間で学んだ知識が現在大いに役に立っています。店に持ち込まれた家庭用電化製品をその場で診断して、おおよその見積り(修理金額と修理期間)を出します。修理をしたほうが良いのか、新品を買いなおしたほうが良いのか、お客様に判断していただきます。電気屋さんで販売しているもののみならず、カメラ・ミシン・時計・おもちゃ(ゲーム)なども修理対象商品です。中には今まで見た事もない古い型の電化製品もあり苦労する事もあります。

ただ単に修理を行うだけでなく、お客様との応対マナーやセールストークが要求されます。お客様の中には結構大きな声で怒鳴りつける方もいらっ

しいです。メーカーに対する批判や他の家電量販店などのクレームなども私たちが対応しなければならぬ事もあります。シェリーズ岡崎店と違って、私を含めて社員二名で運営しています。先輩が休みの日は私一人で何もかも切り盛りをしています。昼食もなかなかタイミンクよく取れないこともあり、また閉店後はレジを閉めて事務処理や修理をしたりして結構多忙な日々を過ごしています。今後はさらに家電修理の技術を磨いて、お客様との応対力を身に付けて、出張修理サービスマンになりたいと思います。

追伸：家庭電化製品の購入予定の方は私までご連絡ください。 (株)エイデン 勤務 藤井 伸太郎

自分の仕事



CAD・CAM学科 H11年卒
藤井 伸太郎

専門学校を卒業して、「早くも二年が経過しました……」なんてありきたりすぎますが、学生の頃と、就職してから時間の早さは、本当に同じかと思われるくらい早く過ぎていきます。自分が今している仕事は、オートマチックトランスミス

同窓会からのお知らせ

告知ルイ
報あー願
務等メモ
業見記で
意下ま
更、らス
変他たし
所のしド
住そまア
し

dousou@ace.aitech.ac.jp

ションの中にあるオイルポンプという部品を加工することです。そして、自分の加工した部品が組み立てられ世の中に流れていくという、二年前では考えもしていなかった仕事をしています。自分が車の運転をしているときに、自分の手掛けた車が走っているのを見ると、友達に自慢げに話をしていきます。

今、これを読んでいるあなたも、あなたの知らない所で、僕が手掛けた車に乗っているかもしれません。このような単純な事ですが、僕はこの仕事に、「やりがい」というものを見つけてきました。

これから、卒業する方も、卒業した人も、自分の仕事に「やりがい」というものを見つけて下さい。学生生活と違い、毎日朝も早けりや夜も遅いという生活で、たまには嫌になることもあると思います。

そんな時には、共に卒業した仲間の手を思い出し、学校で得た力を発揮して、ガンバッテ下さい。

アシエンエィタプリユ 勤務

学科だより

高度情報学科

教授 山田 一敏

卒業生の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本校の近況について、卒業・入学状況、カリキュラム、国家試験の順でご報告させていただきます。

まず、卒業・入学状況ですが、毎年進級基準が難しくなり、今年度は三年間で最低の三名しか卒業できませんでした。しかし、

入学者は十七名と過去最高を記録し、資格の重要性が高校生に浸透してきたことがうかがえます。また、基本情報取得を目指すプログラマーやエンジニアを目指す高の三十二名になり、急遽別々に授業をすることになりました。それにより、三月は非常勤探しに奔走し、うれしい苦勞を

しました。次にカリキュラムですが、昨年お知らせしました変更により、二年十月までに全員が基本情報取得し、三年四月にソフトウェア開発、十月にテクニカルエンジニア(ネットワーク)を目指すことになりました。現

二年生から実施していますので、次回には成果をお知らせできると思います。良い知らせが

できるような頑張ります、頑張らせますので応援よろしくお願ひします。

最後に国家試験のことですが、皆さんもご存知のように将来のコンピュータ試験に備えて、今年から基本情報技術者試験の問題を持ち帰れなくなりま

した。おそらく問題集も発売できなくなると思いますので、問題を入手できた方は山田まで連絡ください。

ところで、仕事は順調に進んでいますか?実際に仕事をして

情報工学科

助教授 森島 茂樹

平成十三年度の卒業式が三月十九日に行われ、無事六十六名の卒業生を送り出すことができました。また卒業生の中には、平成十一年四月に情報工学科イ

ンターネット専攻に入学された六十二歳の伊与田さんが在籍されて今回、素晴らしい成績で卒業されました。実際に私は伊与田

さんの授業に対する姿勢を見させて頂きましたが、私自身大変感動いたしました。確かにパソコン操作の速さは若い学生に適

わなないところがありました。しっかりとメモをとり着実に自分の知識として習得されておりま

した。また、新しい分野の勉強でも遠慮することなく積極的に取り組む姿勢がみられました。

今後、同窓生の皆様も是非、伊与田さんの勉強に対する姿勢を見習って何歳になってもチャレンジ精神を忘れず頑張ってくださいと思います。

さて話は変わりますが、平成十四年三月に実習室の設備更新がありましたので紹介致します。

今までWindowsのパソコンはOSがNT4.0でしたが、資格試験(MCP)の影響等から、サーバはWindows2000サーバがクライアントにはWindows 2000 Professionalが導入されました。その他、マルチメディア専攻が

授業で使用するノンリニア編集システムが増設されました。この様にできるだけ、卒業生

が社会に出て役に立つ設備環境を今後も導入していきますが、できれば同窓生の皆様にも現状の企業での設備情報や必要とされる情報技術等を頂ければ幸いです。

是非機会を見つけて学校に立ち寄ってください。

電子制御学科

教授 掛布 英辰

卒業生のみならずお元気ですか。電子制御学科の近況についてお知らせします。

昨年度の電子制御学科は設備の面で少し変化がありました。昨年度は、ノートパソコンの更新をしました。

電子工学実験室にあるデスクトップパソコンは全てWindowsパソコンにしていますが、ノートパソコンについては依然としてMS-DOSで使用していました。これらのノートパソコンは、開

校当時に導入したもので、開校当時においてはもちろん最新の機種でした。卒業生の皆さんも

覚えていらっしゃると思いますが、おもにマイクロコンピュータの授業で使用していたNECのノートパソコンです。

パソコンのOSもWindowsに移って久しく、電子制御学科のノートパソコンもWindowsパソコンに更新することになりました。

実験室内のパソコンはすべてLANで結ばれており、常時インターネットに接続可能な状態ですが、このうち、ノートパソコンについては無線LANを導入

しました。授業での課題提出もLAN経由で直接教師用のパソコンに転送したり、プリンタへの出力もLAN経由ですの

で、余計なケーブルも無く、机の上もスッキリとし、授業環境も非常に快適になりました。

次に、電子制御学科の昨年度の就職状況ですが、卒業生十一名のうち大学への編入希望者五

名全員が希望の大学に編入できました。(愛工大四名、他大学一名)。残りの就職希望者についても全員就職することができました。

大学への編入については、今年度の二年生十一名中半数が、また、新入生二十三名中七割が希望しており、今後も増えると思われ

CAD・CAM学科

助教授 橋本 秀則

卒業生の皆様には、各方面で活躍のこととお慶び申し上げます。さて、本学科の近況について

報告いたします。まず、長年CAD・CAM学科にて活躍いただいた林千勝

先生が三月をもって退職されました。長期に渡り学科のために頑張っていただき本当にご苦勞さまでした。

ゼロからCAD・CAM学科を立ち上げ、教育を軌道に乗せられた背景には、並々ならぬ努力があったものと存じます。在学中に林先生の厳しい指導を受けた方も、懐かしく感じるので

はないでしょうか。今後は、その意志を引き継ぎ更なる発展のために頑張りたいと思

います。次に、十四年三月の卒業生の進路状況ですが、二十名のうち二名が大学編入、十八名が就職

となりました。全体的に就職については厳しい状況が続いておりませんが、棚橋先生の就職指導のもと本学科としては百パーセントを達成することが出来まし

た。また、本年度の入学状況ですがCAD・CAM学科一年生が在籍者数は三十三名となり、昨年一昨年より増加しております。一つは大学編入学制度の浸透が挙げられると思

います。もう一つは、機械系企業の業績安定イコール機械系学科の人気というものが挙げられると思

います。それらを踏まえ本学科でもより実践に近い授業を、ということ

で今までの実習に加えCAMでの実加工、ソリッドCADといった三次元の時間を大幅に増加させています。即戦力とはい

かないまでも広い知識を持ち、少しでも早く戦力となる為には不可欠であると考えます。卒業生の皆様におかれましては是非一度学校へ立ち寄っていただき自身の経験等、報告いただければ幸いです。

退任者ご挨拶



前校長 吉田 昭二

専門学校卒頑張れ!

この三月をもって大学教授兼専門学校長を退任することになり、五十有余年にわたるサラリーマン生活に終止符を打つことになりました。実は私も大学卒ではなく、皆さんと同様に専門学校(旧制)卒です。

最初は官吏になりましたが、昇進もキャリア組のようにいきません。そこで技術を身につけることに専心し、第一級無類技術士等の資格取得から始まり、研究所へ転勤して研究業績を積み重ね、工学博士(東大)の学位を取得して大学教授に就任し、学会等でも活躍できました。

昨今は学歴社会が崩れ、どこかの大学を出たかではなく何を勉強したか、何ができたかでその人が評価される時代です。勿論学問・技術の世界でなく実業界でも、高校卒や専門学校卒で会社々長や専務等が見られるようになりました。どうか皆さん、大学卒に対するコンプレックスをもたないよう、バイタリテイをもって頑張ってください。



特任教授 林 千勝

苦勞無くして楽無し

私が本校に来たのは本校が開校後一年が経った時である。昔はCAD/CAMは一年目が座学で、二年目になってCADの実技を教えたので私はCADの実技は初めから教えた事になる。CADを教えるにあたり私は操作教育でなく機械技術者としてのCADを目指した。

次に力をいれたのは「資格試験」である。いやしくも専門学校に勉強に来た以上「資格」を出るだけ多く、しかも、良い資格を取れる事が学生のためであると思う。幸い合格率は、他校を超える事が出来た。特にCADトレース技能審査は本校は九十二%と他校の約二倍合格率を出す事ができた。

これも学生が頑張った事と、授業中に雑談や居眠りを許さなかったことが良かったと思う。長い間有難うございました。どうか元気で幸せにお過ごしください。



特任教授 半村 久雄

楽しかった十年

私はACE設立の時に、その教授と愛知工業大学の非常勤講師を兼務するという事で、名古屋電気学園に来ました。それからもう十年過ぎ去ったことで月日のたつ速さに驚いています。以前は企業の研究所にいましたが、自分の知っていることを人に教えるのは好きでしたから、先生には向いているかもしれないと思っていました。ACEでの期間を一言でまとめると、期待通りに楽しく過ごした十年でした。この間お世話になった皆様に感謝します。

さて、開校当時の頃を振り返ってみますと、私はACEの教務を担当することになり、全てのやりかたを新しく決める必要がありました。出勤管理、試験制度、成績管理、表彰制度等の整備に大変苦労しました。他方、授業を行うのは楽しく、特に卒業制作で作ったマイクロマウス(小型迷路走行ロボット)を東海地区競技大会に参加させたことなど、よい思い出になりました。

今後はACEを離れますが、同じ学園内の愛工大名電高校でコンピュータ管理などの仕事を続けますので宜しくお願いします。



事務職員 大谷 美也子

「おはようございます」

「おはようございます」と、いつも色々な学生の活気で満ちていた専門学校の事務室を平成十三年四月に転勤する事になりました。現在は、名古屋電気学園の財務部に働いています。

入社当初を思い出しますと、慣れない事務手続きに時間をかけてしまい皆さんにご迷惑をかけた事もありました。しかし、温かい職場と元気な学生さん達に囲まれた事でとても励みになりました。ありがとうございました。

又、仕事をしているうちに「事務は学校の玄関」であるという認識も自分の中で芽生えました。これは現在の私の仕事に対する姿勢にもつながっています。現在の職場は、直接学生さんと接する機会はありませんが、違った形で専門学校に貢献したいと考えています。私も夢に向かって頑張っている皆さんに負けたくないように頑張っていきたいと思っています。

卒業生の皆さんが、ますます元気に活躍される事を心よりお祈りしています。



事務職員 森 美和子

約八年間お世話になった本校

を、昨年の十二月末で離れることになりました。事務業務で常に気をつけていたのは、いかに学生に嫌われない事務窓口を作るかでした。学生が気軽に質問する事ができ、迅速に対応できるようにと、思っているのですが、迷惑をかけてしまった事が、多々あったように思います。

日常生活でもあることなのですが、親しみを込めた言葉が、相手には不愉快な言葉であったり、傷つけていたり、自分の思ってもいない方向に進んでいってしまう怖さや、的確な言葉で伝える事の難しさをよく感じていました。

私にとってこの八年間は、普段見ることのない教育現場の内側を知る貴重な日々でした。慣れないパソコン業務等で苦勞はありましたが、今までこなす事ができたのも周囲の協力があったからこそだと思います。最後に、卒業生の皆さん並びに教職員の皆さんの益々のご活躍をお祈りしています。

最後に、卒業生の皆さん並びに教職員の皆さんの益々のご活躍をお祈りしています。



新任者ご挨拶



事務 課長補佐 池山 久美子

この四月一日から、愛知工業大学より人事異動でエースへ来ました。大学では図書館と土木工学科事務に所属していました。こちらへ来てからも事務を担当しています。規模の違いはありますが、独立した学校として事務全般に通曉していなければならず、今までのように一部分を担っているのではなく、全般にわたってオールマイティさが求められていると感じています。まだ、聞き慣れない情報用語やカリキュラム名に戸惑っていますが、早く慣れて学生さんや教員の役に立てるよう日々努めているところです。

日進月歩の情報化社会の中で活躍の皆様は、毎日を機械と向き合っている事や、情報化の進歩が高齢者や身体の不自由な人達にも役に立つことを願っています。そして、生身の人のコミュニケーションも大切にしていきたいと思っています。どうぞ同窓生の皆様もエースの近くを声をかけていただき、元気な顔を見せて下さい。お待ちしております。

日進月歩の情報化社会の中で活躍の皆様は、毎日を機械と向き合っている事や、情報化の進歩が高齢者や身体の不自由な人達にも役に立つことを願っています。そして、生身の人のコミュニケーションも大切にしていきたいと思っています。どうぞ同窓生の皆様もエースの近くを声をかけていただき、元気な顔を見せて下さい。お待ちしております。